

(社)日本騒音制御工学会平成16(2004)年春季研究発表会プログラム

期 日 : 平成16年4月23日 (金)

会 場 : 東京工業大学大岡山西9号館2階
デジタル多目的ホール, コラボレーションルーム
東京都目黒区大岡山2-12-1, TEL 03-5734-4096

基調講演 : 学会における環境振動研究への取り組みと今後の課題 国松 直 氏
サウンドアメニティの現状と課題 佐々木 實 氏
-より良い音環境を求めて
アクティブノイズコントロールの最先端と実用化 西村 正治 氏
騒音ラベリングの現状と課題 高津 熟 氏
(発表時間は各セッションの冒頭)

参加費 : 参加費, 論文集の頒布価格は次の通りです。

	参加費	論文集頒布価格
正会員・学生会員・公益会員・賛助会員	1,500円	2,500円
会員外	2,500円	3,500円

懇親会 : 平成16年4月23日 (金) 18:10~20:00
会場: 百年記念館最上階ラウンジ「東工大角笛」
会費: 6,000円
(会費は当日正午までに総合受付に納入して下さい。)

実行委員会 : 委員
長 高津 熟 ((社) 産業環境管理協会)
副委員長 国松 直 ((独) 産業技術総合研究所)
" 佐々木實 (音環境システム研究所)
" 西村正治 (鳥取大学工学部機械工学科)
委員
石井 皓 (千葉県環境研究センター)
" 石井 貢 (神奈川県環境科学センター)
" 井上保雄 ((株) アイ・エヌ・シー・エンジニアリング)
" 鈴木陽一 (東北大学電気通信研究所)
" 瀧浪弘章 (リオン (株))
" 田矢晃一 ((財) 小林理学研究所)
" 林 顕效 (鈴鹿医療科学大学医用工学部)
" 平松友孝 (大成建設 (株) 技術センター)
" 三宅龍雄 ((株) 総合技術コンサルタント)

発表時間 : 1. 発表時間は, 質問・討論を含めて1件18分以内とします。
など 講演時間は15分, 時間厳守願います。
2. 発表者氏名のうち, ○印は講演者, ◎印は研究奨励賞受賞対象者,
☆印は認定技士, △印は非会員です。
3. 座長・副座長は都合によって変更されることがあります。

環境振動の現状と今後の展開

午前 9:40～12:00

座長：塩田正純 副座長：平尾善裕

1-01 基調講演 学会における環境振動研究への取り組みと今後の課題

国松 直（産総研）

1-02 振動行政の将来と課題

[招待講演] 由衛純一（環境省大気生活環境室）

1-03 環境振動に関する自治体へのアンケート調査（その2）

○鹿島教昭（横浜市環科研）

塩田正純（飛鳥建設）

福原博篤（騒音防止協会）

由衛純一, 大野 崇, 平野高司（環境省）

1-04 環境振動評価における加振力について

○内田季延（飛鳥建設）

1-05 振動知覚データの分析に基づく振動評価法の検証

○松本泰尚（埼玉大学）

佐々木貴史（埼玉大学）

1-06 国際規格・ISO2631-2（建物内振動評価）の規格動向と今後の課題

○前田節雄（産医研）

1-07 環境振動計測器の健全性に関する学会参加者へのアンケート調査

○吉川教治, 蓮見敏之（リオン）

国松 直（産総研）

サウンドアメニティの現状と課題－より良い音環境を求めて－

午後 13:00～16:20	座長：佐々木 實	副座長：船場ひさお
----------------	----------	-----------

1-08 基調講演 サウンドアメニティ

－その言葉の意味を味わう－

佐々木 實（音環境システム研究所）

1-09 伊勢神宮の音環境 －今と昔－

○林 顕效（鈴鹿医療科学大学医用工学部）
久野和宏，野呂雄一（三重大学工学部）
大宮正昭（名古屋市環境科学研究所）

1-10 実環境における環境音のフラクタル次元

◎大久智弘，真壁義明，柴山秀雄（芝浦工業大学）

1-11 環境音の幾何学的像について

◎真壁義明，柴山秀雄（芝浦工業大学）

1-12 道路区間の類型化が環境基準達成状況の評価結果に与える影響について

【招待講演】角湯克典
○児玉知之（環境省環境管理局自動車環境対策課）
八木 勤，太田晶久（国土環境株式会社）

1-13 環境基準へのこだわり 既設と新設の幹線道路事例から

○大野嘉章（練馬区環境保全課）

1-14 Filtered-Histogram法による道路交通騒音距離減衰値の把握手法

○和気信二（ハオ技術コンサルタント事務所）

1-15 低周波音の到来方向推定について

◎三輪基敦，齋藤幹人，松永智敬，柴山秀雄（芝浦工業大学）

1-16 近距離場での低周波音到来方向推定

◎松永智敬 三輪基敦 齋藤幹人 柴山秀雄（芝浦工業大学）

第二会場 コラボレーションルーム

アクティブノイズコントロールの最先端と実用化 (1)

午前 9:40~12:00

座長：伊勢史郎 副座長：江波戸明彦

2-01 基調講演 アクティブコントロールの最先端と実用化

西村正治 (鳥取大学)

2-02 伝搬経路伝達関数の推定を必要としない3次元音場制御

金光陽一, 雉本信哉, △松田浩一, ◎△今村泰理 (九大)

2-03 摂動法を用いたマルチチャネルアクティブノイズコントロール

○梶川嘉延, 野村康雄 (関西大)

2-04 適応機能を持つヘッドセットのアクティブ・ノイズ・フィードバックコントロール

△伊藤久志 (立命館大, 院生)

○秋下貞夫 (立命館大)

2-05 軽量遮音セルに関する基礎研究

◎金森直希, 西村正治, △三代 巧, △木村康宏 (鳥取大学工学部機械工学科)

2-06 圧電スピーカを用いた壁面透過騒音の能動制御

○角張 勲 (松下電器)

2-07 床衝撃音のアクティブコントロール (電磁アクチュエータの導入)

○秋下貞夫, △三谷篤史, △高梨宏之 (立命館大)

アクティブノイズコントロールの最先端と実用化 (2)

午後前半 13:00~15:20	座長：西村正治 副座長：角張 勲
------------------	------------------

2-08 DXHSアルゴリズムによる救急車電子サイレン音の制御

○宇佐川毅, 西村義隆, 菅木禎史 (熊本大学工学部数理情報システム工学科)

2-09 ゼロ制御パワーに着目した音響パワーを最小とする能動騒音制御の研究

○江波戸明彦 ((株) 東芝)
田中信雄 (都立科学技術大)
西村 修, 塩山 勉 ((株) 東芝)

2-10 アクティブ防音塀の二次音源出力と遠距離場での制御効果の関係

◎△仲島崇博, 伊勢史郎 (京大, 工)

2-11 冷却塔からの障壁回折音の能動制御

◎宮崎哲也, ☆井上保雄 (INC)
△松田隆司 (特許機器)
△小林邦行 (FPS)
△鈴木和憲, △中島立視 (竹中工務店)

2-12 熱影響及び加速追従性を考慮したアクティブ排気消音器の開発

○田中丈晴 (交通安全環境研究所)
△李 克強 (清華大学)

2-13 ボイラー排気騒音のANCによる低減

○栗栖清浩, 阿部真一 (TOA)

2-14 ダクト開口部からの放射音の能動制御に関する実験的検討

◎田中康信, △難波成美 (ダイダン)
尾本章, 藤原恭司 (九大芸工院)

騒音ラベリングの現状と課題

午後後半 15:40～17:40	座長：工藤信之 副座長：鈴木 肇
------------------	------------------

2-15 基調講演 騒音ラベリングの現状と課題

高津 熟（産業環境管理協会）

2-16 聴力保護具の減音量表示

○大熊恒靖

2-17 国際規格に基づく聴力保護具の性能表示

○瀧浪弘章（リオン）

2-18 建設機械油圧ブレーカの低騒音の評価方法に関する研究

○江川義之（独立行政法人産業安全研究所）

2-19 建設機械におけるEU振動指令対応及びISOの動向

○上田保典（新キャタピラー三菱）

△田中健三（コマツ）

2-20 浴室からの固体音測定標準加振源に関する検討—実験室における発生音特性の検討

○濱田幸雄（日大・工）

赤尾伸一（三井住友建設技研）
